

2025年度 ニチキッズおさつ駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月15日（木）～2月14日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年3月2日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念に基づき、「すくすく育つ」「わくわく遊ぶ」「いきいき過ごす」の保育目標を念頭に置き環境設定に配慮した。様々な経験から発見や学びが得られるよう子どもの最善の利益を意識した保育を目指していきたい。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの発達を把握・共有し、職員全体で必要な援助を行い見守ってきた。外部機関との連携を強化し、助言をいただきながら保育計画を立て柔軟な活動に取り組んだ。
保護者に対する支援	子ども、保育園に対する不安や心配の気持ちを察して関わられるよう努めた。日々の子どもの様子を共有し共に成長を見守る中で保護者の声に寄り添い、丁寧な対応と対話を心がけ信頼関係を築いていきたい。
保育を支える組織的基盤	積極的に外部研修に参加する事で新たな気付きや課題を見つけ、課題解決には職員全体が協力して取り組んだ。園全体で同じ目標に向かい、安定した保育を目指していきたい。

総評
今年度は職員の人数が十分だった為、クラス別保育を充実させる事ができた。また、新しい行事を行う等子ども達の生活に刺激や変化を取り入れられるよう工夫してきた。全ての行事に保護者様が参加できる事を年度当初に伝えていたので、いくつかの行事に参加していただく事ができて嬉しかった。それが職員の自信や励みとなり新しい取り組みへと繋がっていったように思う。子ども達の園での様子を知っていただく事で安心、信頼してもらえるよう継続していきたい。来年度は子育て支援や職員研修を通して、外部とのつながりが持てるよう働きかけていきたいと思う。職員からの意見を大切に、大人も子どもも期待して通える保育園を目指し全員で取り組んでいきたい。